



2020  
令和2年

1

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎ 3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階A号  
☎ 3430-6617 FAX3430-6743



### 狛江市軟式野球連盟

熱戦をくり広げる選手たち

狛江市軟式野球連盟(岡川清明会長)は、狛江町体育協会(当時)が誕生する4年前の昭和39年に狛江のスポーツ連盟の第一号として発足、市民の健康増進、健全な青少年育成を目的に市民スポーツの中心的存在として活動してきた。

町役場をはじめ当時多かった企業チームとクラブチームが検討を重ねて設立、発足記念大会には23チームが参加した。その後も多くのチームが加わり、最盛期には80余りを数えた。平成10年頃から選手の高齢化や会社の移転な

どでチーム数が減少したが、最近は中学時代に球児だった人が集まって結成した若者のチームも加わるようになり、現在は30チームが所属、選手は20代前半から70代のシニアまで約550人で、女性もいる。

4月から7月までリーグ方式の春季大会、9月から11月にかけてトーナメント方式の秋季大会を催しており、いずれも複数回試合を楽しめるよう配慮している。ただ、昨秋の台風19号によって準々決勝まで使っていた多摩川緑地公園グラウンドが使用不能になったため、3

月に市民グラウンドで準決勝・決勝を行い、優勝チームは6月に開かれる東京都町村軟式野球協会のブロック大会に出場予定だが、来年度の春季大会については見通しがたっていないという。

同会では自主運営に力点を置いており、審判の講習会を開き、野球愛好者へ積極的に門戸を開放している。

岡川さんは「さまざまなスポーツが気軽に楽しめる時代になり、かつて国民的なスポーツだった野球人口は減少傾向にあります。試合を楽しみたい人もたくさんいて、昔の球児がいまも白球を追いかけしています。ただ、会員は社会人が中心なので、プレーできる日と場所が限られ、河川敷のグラウンドは天候に左右されることが多く、今回のように水害に遭うこともあるので、グラウンドを確保するのが長年の懸案です」と語っている。

問い合わせ ☎5761-7198 岡川さん。

## 幅広い年代が伝統の技と心継承



### 狛江市剣道連盟



市民剣道大会で熱戦を繰り広げる女性剣士

平成4年に皇宮警察と警視庁の警察官などに剣道を教える市内在住の師範らの呼びかけで発足した。現在、市内のクラブなど5団体約80人が所属し市民総合体育館や小中学校の体育館などで稽古をしている。七段で「教士」の称号を持つ高橋会長をはじめ、高段者が多いのが特徴で、子どもや女性など幅広い層が所属、礼儀作法を身に付けるために入門する人も増えているという。

月には高校生までが出場できる狛江市少年少女剣道大会、通常10月に狛江市市民剣道大会を開催、都民剣道競技会など市外の大会にも積極的に参加している。

剣道の源流と言われ、昇段審査の時に審査がある日本剣道形を重視しており、その習得のため、毎月1回、形と打ち込み稽古を行うほか、日本剣道形講習会を春秋に2回実施している。

高橋会長らは「剣道は数百年以上続く日本の伝統文化です。歴史を継承していくために、さらに裾野を広げていきたい」と話している。

問い合わせは電話3488-4598高橋さん。

競技会や稽古会などを催しており、3

## 元気なパラリンピック応援団 in こまえ

### 着物でパラ盛り上げよう

「元気なパラリンピック応援団 in こまえ フェスティバル」が12月7日(日)に防災センターで催された。

市民団体「元気なパラリンピック応援団 in こまえ」(鈴木富佐江代表)が、12月3日からの障がい者週間中に誰もが安心して暮らせる共生社会への関心を高めようと市と協働して催した。この日は市内外から70人以上が参加、シドニーパラリンピック車いすバスケット選手で、東京2020パラリンピックのパラパワーリフティング出場を目指す石原正治さんが講演。昨年8月の全国高等学校総合文化祭の弁論部門で準優勝した市内に住む大学生の田崎花歩さんが、母の振り袖を着て、車いすユーザーとし



着物で東京五輪音頭を練習

ての視点などについて話した。その後、車いす利用者やタイ人留学生ら5人をモデルに鈴木代表が考案した造り帯を使った「楽々着付け体験」を学んだほか、東京五輪音頭を練習し全員で踊った。

同会では、2月と3月にも防災センターでバリアフリー着物の着付け教室などを開く予定。問い合わせ ☎090-3691-0055、Eメール ffsuzu23@fsinet.or.jp 鈴木さん。

### 1月のスポーツカレンダー

バドミントン6・20・27日 月11:25 西和泉体育館 ☎ 狛〇くらぶ ☎ 080-1327-9789 松沼

体操教室(男女)6・20・27日 月19:00 市民総合体育館 ☎ 狛〇くらぶ ☎ 090-5829-8069 前川

ショートテニス7・14・21・28日 月11:25 西和泉体育館 ☎ 狛〇くらぶ ☎ 松沼

体操教室(女性)8・15・22・29日 月11:30 市民総合体育館 ☎ 狛〇くらぶ ☎ 前川

バレーボール8・15・22・29日 月16:15 西和泉体育館 ☎ 狛〇くらぶ ☎ 松沼

吹き矢教室9日 月9:00・25日 月11:25 市民総合体育館 ☎ 狛〇くらぶ ☎ 090-1437-2420 田村

卓球を楽しむ会13日 月・25日 月9:00 市民総合体育館 ☎ 狛〇くらぶ ☎ 090-9103-7131 山本

\* イベント名、開催日・期間、開始時間、会場、主催、お問い合わせ先(2回目以降は電話番号省略)の順。



三中のエキシビジョンマッチ。一中の女子も男子と一緒にプレー

### 狛江市立中学校スポーツ対抗戦 サッカー

一中から部員を借りることもあるという。選手たちは「早く人数を集めて自分たちのチームで試合をしたい」と話している。

狛江第四中学校は、市内のサッカー部で唯一、顧問の教諭のほか外部指導員が指導に当たっている。3年前か

ら週4日間、部員たちに実戦的な指導を続けている。3年生が抜けて部員数が半減したものの、サッカーの経験が長い部員も多く、パス回しを中心としたつなぐサッカーを目指している。

試合は昨年が続いて二中が全勝優勝を果たした。キャプテンの井尻咲翔さんは「個々の調子が良く、声を出して連携を取り合えたのが勝因です」と喜んで

いた。2位は一中、3位は四中、4位は三中。

サッカーの狛江市立中学校スポーツ対抗戦が8月22日(日)に狛江第一中学校で催され、4校合わせて選手57人が熱い戦いを繰り広げた。

1・2年生の新チームが参加したが、狛江第三中学校は部員が8人しかいないため、三中を除く3校のリーグ戦となった。三中は他校から選手を借りて各校のBチームとエキシビジョンマッチ2試合を行い、参加選手全員が試合に出られるよう配慮された。

狛江第一中学校は、男女を分けずにスポーツを楽しむという方針で、サッカー部にも3年前から女子が入部、男女混合のチームで練習や試合に取り組んでいる。小学生の頃から外部のクラブチームでサッカーを経験している女子もおり、今回の対抗戦でも、男子にひけを取らないプレーを見せていた。

狛江第二中学校は、東京都中学校サッカー夏季大会第9ブロックで決勝トーナメントベスト4に入るなど好成績を

学校ごとに特色あるチーム作り

収め、着実に力をつけている。2年生が中心になってチームを引っ張り、いろいろなポジションを経験する中でプレーの可能性を広げるとともに、他人任せにしないチーム作りを行っている。

三中は、人数は少ないが、部員同士の仲が良く、週5日間、基礎からしっかりと練習をしている。試合は、部員が少ない府中市の中学校と組んだり、狛江